

令和7年度「地理総合」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
地理総合	必修	2	共通
教科書 副教材等	教科書：『高等学校新地理総合』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院） 副教材：『新詳地理資料 COMPLETE 2025』（帝国書院） 『ニューコンパスノート地理 2025』（東京法令出版）		

1 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

2 学習概要

- ・グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。
- ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

3 学習方法

(1) 授業への取組

- ・覚えるべき事項はもちろん覚えなければならない。しかし、暗記することが地理を学ぶ本質ではない。暗記一辺倒ではなく、その事象が起こるしくみをよく理解した上で覚えることが肝要である。常に、「なぜ？ どうして？」と追究する姿勢で臨もう。
- ・わからないときは周りの生徒や担当教員に積極的に質問をしよう。不明な部分をそのままにしないで、一つ一つ解決していくことを意識しよう。

(2) 家庭学習

- ・授業前に教科書を一読しておくこと、授業内容がよく理解できる。
- ・日頃からテレビのニュース番組に関心を持ち、取り上げられた場所などを地図帳で調べる。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能 (①)」：定期試験・小テスト・レポートノートなど

「思考力・判断力・表現力 (②)」：定期考査・授業プリント・グループでの話し合いなど

「学びに向かう力 (③)」：授業態度・授業中の発言・レポートの内容など

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう人間性 (③)
評価基準	我が国及び世界の生活・文化の地域的特色や防災、地域的・地球的課題への取組などに関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けているか。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力やそれらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

